

公開番号 又は 特許番号	特開 2012-209151、WO-2012-132884
発明名称	有機 EL 素子およびその製造方法
出願人 又は 権利者	パナソニック電気株式会社、 国立大学法人九州大学、 リンテック株式会社
想定デバイス	アンビエントデバイス、エネルギーハーベスティング
要約	<p>【利用分野】 有機EL素子（有機エレクトロルミネッセンス素子）およびその製造方法に関するもの。</p> <p>【発明の内容】 光取り出し効率の向上を図ることが可能な有機EL素子およびその製造方法を提供するもので、そのために、有機EL素子は、基板1と、基板1の一表面側に形成された第1電極2と、第1電極2に対向する第2電極4と、第1電極2と第2電極4の間に介在する有機EL層3とを備えている。有機EL素子は、第2電極4が透明電極、第1電極2が反射電極であり、トップエミッション型の有機EL素子となっている。第1電極2は、基板1の上記一表面上に形成された多数のナノメートルサイズ（ナノメータオーダ）の柱状構造体21を有し、柱状構造体21は、最表面が金属表面となっている。</p>
図面	<p>【図1】</p>